

大和郡山 防災ニュース 4. 3月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

防災ニュースアーカイブ

防災に役立つ情報・グッズを集めました！

平成28年10月からご覧いただいています「大和郡山防災ニュース」、今回は「防災ニュースアーカイブ」と題して、今までご紹介してきた個人向けの情報やグッズを集めてみました。

市内のコンビニ公共施設に設置しています、命を救うAED！（2. 3月）

激しいスポーツの最中や打撲などのショックで、心臓が心室細動という不整脈を起こすと体に血液が回らなくなり、心臓突然死を招く可能性があります。このような場合、すぐ救急車を呼んで到着までの間、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を始めていただくことが大事ですが、もし近くにAEDがあれば使用してください。電源を入れると音声で使用方法が流れますのでその指示に従ってください。市が設置しているAEDは下記のとおりです。

【市のAED設置箇所】

- 市内の全ての市立小学校、中学校
- 市役所、矢田コミュニティー会館、市民交流館
- 三の丸会館、南部公民館、昭和・治道・平和・片桐各地区公民館
- 金魚スクエア(総合公園多目的体育館)
- DMGMORIやまと郡山城ホール
- 額田部運動公園施設
- 社会福祉会館、ゆたんぼ(老人福祉センター)
- 国立工業高等専門学校、県立学校
- 市内ファミリーマート全店(13店舗)
- セブンイレブン6店舗（近鉄郡山駅前店、大和郡山下三橋町店
大和郡山九条町店、大和郡山小林町西店
大和郡山高田町店、昭和工業団地店）

電気も備蓄！「モバイルバッテリーでスマホ電源確保」(2. 4月)

今の生活になくてはならなくなったスマホ。災害時の連絡手段としても貴重です。しかしこの弱点は停電になると充電できなくなること。このため災害時には家族で通話時刻を決めておいたり、災害用伝言ダイヤル171を活用し、それ以外の不必要な時間では電源を切ったり機内モードにしておきましょう。また、このようなときに備えて、普段からモバイルバッテリーで電気の備蓄をしておくことをお勧めします。また、再充電が難しい状況においては乾電池式充電器を準備しておけば、電池さえ購入できればスマホに充電することができます。



防災メモ 地震の時、通電火災を防ぐため「感震ブレーカー」(29.12月)

地震による火災の原因の過半数は電気が原因です。その一つは、建物の倒壊や家具・家電が転倒して電気ストーブや照明器具が可燃物と接触して発生する火災です。もう一つは、「通電火災」といわれるもので、地震発生時に発生した停電が復旧する際、通電状態となった電気ストーブや観賞魚用のヒーター、または地震で傷んだ配線から出火する火災です。地震による「通電火災」を防ぐ器具に「感震ブレーカー」というものがあります。これは、地震時に揺れを感知して電気を自動的に止める器具で糸でつないだボールが揺れで落下してブレーカーを落とすタイプやバネの力でブレーカーを落とすタイプなどがあり、ホームセンターなどの防災コーナーや通販でも購入できます。

～メールが使えない方の避難対策に！～

「防災情報電話配信サービス」の登録をお願いします！(2.3月)



洪水・浸水の危険性が高まったときなど、「高齢者等避難」(レベル3)や「避難指示」(レベル4)等の避難情報をエリアメールなどでお知らせして、市指定避難所への避難を促していますが、スマホが使えない高齢者・要支援者の方や、視覚障害者の方などにこれら避難情報を音声に変換してご自宅のお電話に一齐送信する「防災情報電話配信サービス」

を行っております。ご利用には、登録が必要です。ご希望の方は市民安全課までお問い合わせください。

いざという時の備蓄品は？ローリングストック法による家庭備蓄を！(31.4月)

災害時に心配なのは食料や生活必需品です。停電などで生鮮食料品が傷んでしまうため、インスタント食品などを求めるお客さんがスーパーやコンビニに殺到して品切れということも考えられます。災害時の救援物資が本格的に届くのは、災害発生から数日以後とされています。各家庭でも備蓄食料品を備えておきましょう。

ところで、いわゆる災害用食品は、いざという時に賞味期限が切れていたとか、収納場所を忘れてしまうなど起こりがちなので、普段食べているインスタント食品、缶詰などを多めに購入して、古い順番に消費することで常に備蓄を意識しながら生活する「ローリングストック法」による家庭備蓄を試してみましょう。この場合加熱方法を確保するため、カセットコンロとボンベなども用意しておくといいでしょう。



自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#) 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください

[大和郡山市消防団へようこそ](#) 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課